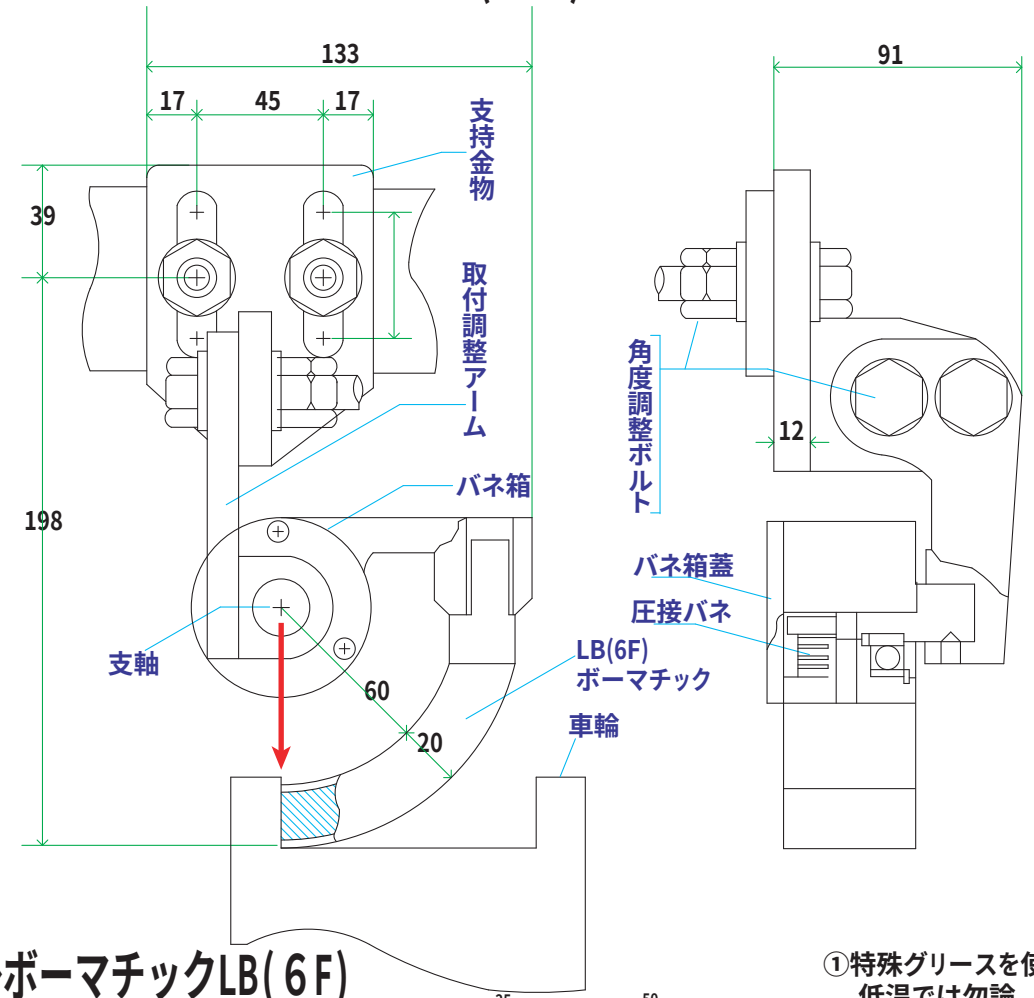
◆ＬＢＦ－６型フランジ防摩器(本体)

【取扱説明書】



本器はクレーン等レール上を走行する片縁車輪の縁磨耗防止のため、グリースを適量･適性に塗布させる装置です。
下記ボーマチックを装備し、内蔵されたバネによりフランジ面に圧接されます。

【取付方法】
･車枠の任意の場所に設けられたブラケット（取付金物）に支持金物を仮固定します。
その際、支軸のセンターが車輪フランジ線上になるようにして下さい。
正しくセットされれば稼動中、車輪のサイドプレイに対してもボーマチックは
車輪踏面ラインより下がらず、常時フランジ面に圧接され折損しません。
※ボギー式車輪の場合は、防摩器と車軸の関係が常時一定であるという必要条件から
車輪の覆等任意の場所に防摩器をセットする必要があります。

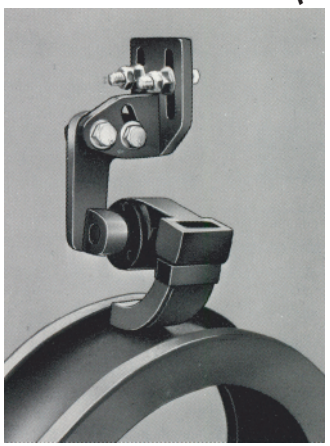
･角度調整ボルトで高さの調整をします。

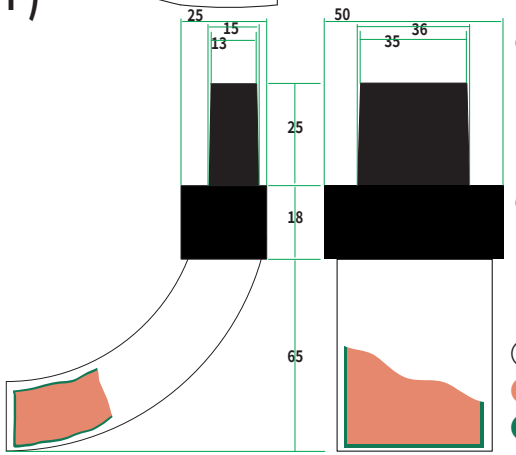
･バネ箱の穴にキャップ部分を挿入しボーマチックを装着します。

･ 支持金物を固定します。

【ボーマチックの交換】
ボーマチックがキャップ部分のみになるまで磨耗すればキャップを除去し、
新しいボーマチックを挿入して下さい。

◆ボーマチックLB(６F)





①特殊グリースを使用しています。超微粒子化（1～5ミクロン）した潤滑性金属、合金及び化合物を混入したもので低温では勿論、高温（200℃）になっても塗布面へ密着し流出しません。
②ボーマチックの容器部（センサー）は、グリースの流出を防ぎ均一な塗布状態を保つようデザインされております。センサーはグリースの”余分な塗布”、”切れ”を防止する役目を果たしますがこれがボーマチック装置最大の特徴であります。結果、グリースが適性に塗布されている状態の時容器はその上を滑動して殆ど磨耗しませんが、グリースが塗布されてる量が少なくなってくると自らは磨耗して新しいグリース面を出し適性塗布状態に戻していきます。
③キャップ（プラスチック性）は圧接されたボーマチックが車輪の稼動衝撃を受けて折損するのを防ぎ、　（プラスチックの）挿入部分をテーパー形状にしてあるので車輪が車軸に沿ってサイドプレイをしてもボーマチック先端部がフランジ面と圧着するようデザインされております。

○固形容器（カーボン）
●粘着性減摩剤（グリース）
●密閉剤（ワックス）

ライトボーマ株式会社
本　社　〒761－8044
香川県高松市円座町1577番地8
TEL（代）087－886－3128
FAX　087－886－1907
MAIL　info@lightboma.com
HP　http://www.lightboma.com
※ホームページから印刷できます